

原宿リハビリテーション病院

HARAJUKU REHABILITATION HOSPITAL



一般社団法人 巨樹の会



院長あいさつ

当院は渋谷区神宮前の山手線沿いの高台にあり、病棟ロビーからは明治神宮の広大な杜と、吊り屋根構造が美しい国立代々木第一体育館（丹下健三氏設計）を含む代々木公園を見渡せます。病院の敷地内には約3,000平方メートルの庭園があり、148mの遊歩道と四阿風の休憩所を設け、リハビリテーションの最終段階である屋外歩行訓練に利用しております。四季折々に姿を変える自然環境の中での訓練は、毎日繰り返す基本的なトレーニングの中のオアシスとして、“早く庭での訓練ができるようになりたい”との格好の到達目標となっております。夜の帳が下りると、新宿、渋谷の夜景が広がり、大東京の懐に抱かれた眠りの時が訪れます。



病院長
松谷 雅生 Matsutani Masao

回復期リハビリテーション病院とは、突然の脳卒中、歩行の妨げとなる大腿骨、脊椎などの骨折、種々の原因による肺炎治療後の体力低下症など、大きな病気の治療後に直ちには発病前の生活に戻れない方々に、1日最長3時間のリハビリテーションを連日（休日もなく）続けることによって、発病前の状態に戻すことを目的としております。

当院では、入院される方々のそれぞれに異なる復帰への道筋に沿ってリハビリテーションを行います。自宅に戻られる場合は、ご家族の介助量を最少限にしてあげなければなりません。復職を希望される方には、入院中から勤務先と連携し、スムーズな復職環境を整えてあげることも必要です。当院では、スタッフ一人一人が、日々自分の役割を愚直に、丁寧に続け、全員が協力して、安全で効率的なリハビリテーション医療を提供いたします。

手には技術 頭には知識 患者様には愛を

基本方針

1. 安心・安全な医療

学問的に高い水準の安心・安全な医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

2. 回復期リハビリテーション医療

患者様・家族と医療情報を共有し、回復期リハビリテーション病院として入院から在宅まで一貫した、患者様のニーズに沿った安心できるチーム医療を提案します。

3. 地域医療

地域の医療・福祉施設と密接な連携をとり、寝たきり「ゼロ」、在宅復帰を目標に誰でも安心して利用できる、回復期リハビリテーション病院を目指します。

当院は、厚生労働大臣の定める基準を満たしている保険医療機関です。以下の施設基準を関東信越厚生局長に届け出ております。

病院施設基準

2021.10 現在

病院管理者 病院長 窪地 淳

【基本診療料】

- 回復期リハビリテーション病棟入院料(1)
- 療養病棟療養環境加算(1)
- 体制強化加算(1)
- データ提出加算(1)
- 医療安全対策加算2
- 医療安全対策地域連携加算2
- 入退院支援加算1
- 認知症ケア加算1

【食事療養費】

- 入院時食事療養費(1)
- ※当院では、管理栄養士または栄養士によって管理された食事を適時適温で配膳しております。
「食事時間」
朝食…8:00 昼食…12:00 夕食…18:00

【特掲診療料】

- 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
- 運動器リハビリテーション料(1)
- 廃用症候群リハビリテーション料(1)
- 呼吸器リハビリテーション料(1)
- 心大血管疾患リハビリテーション料(1)
- エックス線診断料
- コンピュータ断層撮影(CT撮影)

【歯科施設基準】

- 歯科外来診療環境体制加算
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- 歯科治療総合医療管理
- CAD/CAN冠

CONTENTS

- 院長あいさつ
- 基本方針
- 病院施設基準 …………… 1 - 2
- 当院の
- リハビリテーション医療 …… 3 - 5
- 摂食嚥下センターのご案内 … 6
- フロア(病室)のご案内 …… 7 - 10
- 設備のご案内 …………… 11 - 12
- 患者様の1day
- スケジュール …………… 13 - 14
- 退院後の支援 …………… 15
- 実績 DATA …………… 16
- 当院について …………… 17
- 入退院の流れ …………… 18



最新設備とチーム医療で 患者様を365日サポート

近年、高齢化の進展や生活環境の変化に伴い、疾病・障害の重症化・多様化が進んでおります。当院では最新の設備やプロフェッショナルなスタッフ陣を揃え、改善に大きな成果を上げております。



最新鋭のマシンで、“座る・立つ・歩く”の 動作トレーニングを実施

心臓リハビリテーション

心臓リハビリテーション指導士を含めたスタッフによる、専門的なリハビリテーションを行っております。心臓に疾患のある患者様に無理のない負荷量で運動を行い、退院後の適切な動作や運動の指導、プログラム設定を行っております。



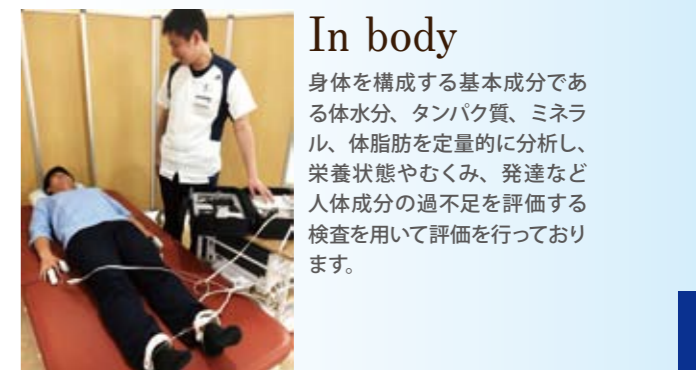
ドライビングシミュレーター



自動車運転再開支援を望む患者様に対して、身体機能と高次脳機能の評価を行い、HONDA製の運転シミュレーター機器を使用してリハビリテーションを行います。シミュレーターでは、ハンドル操作性や反応の速度、左右の偏り、集中力などをグラフ化して見る事ができます。また、近隣の自動車学校と連携しており、教習所教官とリハビリテーションスタッフの付き添いのもと実車による運転評価にも取り組んでおります。患者様の退院後の生活をより豊かにするために、一人ひとりの患者様に即したリハビリテーションを提供しております。

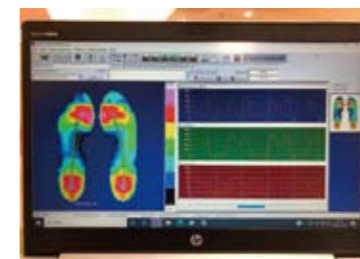
ロボットスーツ HAL®

脳卒中や事故による麻痺の影響で下肢が動かさなくなってしまう方に対して、ロボットスーツ HAL® を使用し、起立訓練や歩行訓練を行います。下肢を動かそうとした際に生じる微量な生体電位信号を感知し、下肢の動きをアシストするため、脳神経や筋肉の繋がりが促進される効果が期待されます。



インソール型足圧分布測定 Pedar (ペダー)

インソール型のセンサで、動的・静的な圧力分布をリアルタイムで解析・表示する。ワイヤレスでの測定が可能のため、歩行だけでなく走行やジャンプなど複雑動作も測定可能。Webカメラで患者様の歩行動画と合わせた足圧情報を提示し、フィードバックすることが出来る。



一人ひとりの症状に合わせて、最適なリハビリテーションを実施しております



寝起きや掃除、洗濯などの生活動作を 一歩ずつ着実に改善

日常生活に復帰するため、能力回復をめざしてリハビリテーションを実施します。一人ひとりの身体機能を把握し、実生活に即した効果的なトレーニングを実施。絵画や書道、パズルなどの訓練で、細やかな動きをスムーズに行えるようアプローチしていきます。



調理訓練。作業療法士がサポートします



家事訓練



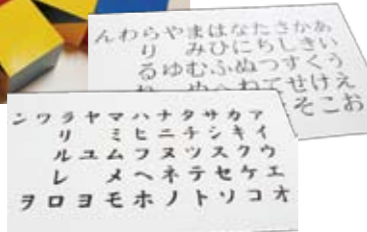
アイビスを使ったリハビリテーション



“読む・聞く・書く・噛む・飲み込む”力を 個別のプログラム訓練で取り戻す



評価や訓練に使用する
道具



脳卒中・頭部外傷が原因で起こるコミュニケーション障害や食べること・飲み込む機能について問題のある方に対し、言葉や意思を引き出す訓練を行います。ろれつが回りにくい構音障害には発音練習、失語症には絵や文字カードを活用した訓練、摂食・嚥下障害には栄養管理や食形態の調整によって機能回復を目指します。



食べ物を食べる訓練

摂食嚥下センター

質の高い治療と口腔ケアを提供

当院では、リハビリテーション科指導医を有する医師と常勤歯科医師、言語聴覚士による摂食嚥下センターを開設致しました。院内の歯科診療室に加え、歯科ユニット、歯科用レントゲン機器も完備しておりますので、質の高い口腔ケアも提供させていただきます。



摂食嚥下センター長
リハビリテーション科指導医
稲川利光 医師



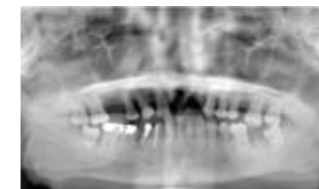
歯科診療部長
中島祐子 医師

「口から食べる」… 機能低下の改善と予防

- ・全顎が撮影可能なパントモグラフィー
 - ・舌の運動機能を測定する舌圧測定器
 - ・口唇、舌の巧緻性及び速度を計測するデアドコ測定器
 - ・口腔内の乾燥度を測定する口腔水分計
 - ・嚥下に必要な感覚刺激を行うジェントルスティム
 - ・嚥下に必要な筋肉へ刺激を与えるバイタルスティム
- などの専門的機器を備え、客観的に診断を行っています。また症例によっては、VE（嚥下内視鏡検査）VF（X線嚥下検査）も行える設備も有し、より高度な精密検査も可能となっております。



パントモグラフィー



パントモグラフィーで口腔内を撮影



舌圧測定器



デアドコ測定器



口腔水分計



ジェントルスティム



バイタルスティム



VE（嚥下内視鏡検査）



VF（X線嚥下検査）

「オーラルフレイルの啓蒙」「口腔機能低下症」の 診療に積極的に取り組んでおります。

「オーラルフレイル」とは滑舌の低下、わずかなむせ、食べこぼし、噛めない食品の増加など、「口腔に現れる虚弱」を意味しております。さらに「口腔乾燥」「噛む力の低下」「舌口唇の運動機能低下」「飲み込みの低下」「口腔不潔」など積極的な歯科治療の介入が必要な状態を「口腔機能低下症」と言います。当院では、専用の機器を備え、更に専門的な知識を持って、この2つに積極的に取り組んでおります。

都会的で上質な安らぎを 感じられるフロア

入院中、生活の場となる病室が快適で過ごしやすいよう、
ゆったりとした空間が魅力の「特別室」「個室」をご用意しました。



Hospital Room

※お部屋代は別添の料金表をご確認ください。

特別室 S1 47.07m²

設備品：テレビ(50型)・ブルーレイ・冷蔵庫・
電子レンジ・ドライヤー・電気ポット・ソファー・
テーブル・チェア・バス・トイレ・洗面台
11F 専属のコンシェルジュ配置、トレーナーによる個別指導



特別室 S2 47.23m²

設備品：テレビ(50型)・ブルーレイ・冷蔵庫・
電子レンジ・ドライヤー・電気ポット・ソファー・
テーブル・チェア・バス・トイレ・洗面台
11F 専属のコンシェルジュ配置、トレーナーによる個別指導



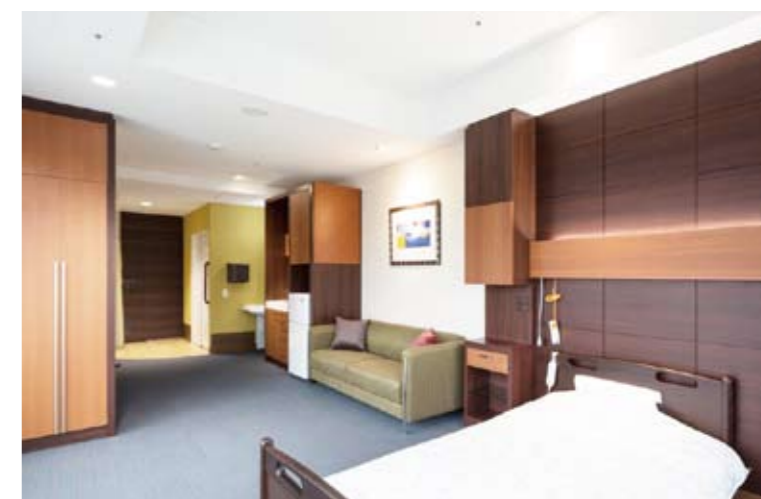
個室 ABD

設備品：テレビ(32型)・冷蔵庫・電子レンジ・ケトル・
テーブル・チェア、シャワールーム・トイレ・洗面台
※お部屋によっては設備が異なります。
11F 専属のコンシェルジュ配置、トレーナーによる個別指導



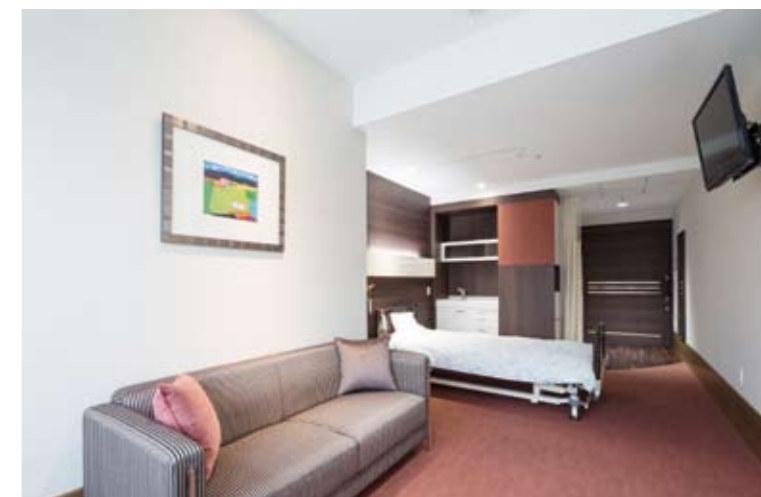
個室 CE

設備品：テレビ(32型)・冷蔵庫・電子レンジ・
ケトル・テーブル・チェア・トイレ・洗面台・
シャワールーム
※お部屋によっては設備が異なります。



個室 F

設備品：テレビ(32型)・冷蔵庫・冷凍庫・電子
レンジ・ケトル・テーブル・チェア・ソファー・
トイレ・洗面台



個室 GH

設備品：テレビ(32型)・冷蔵庫・ケトル・テーブル・
チェア・トイレ・洗面台



利便性と居心地の良さを重視したフロア

2名用から4名用の病室は、プライバシーを配慮した構造に。
患者様それぞれの空間を保ちつつ、療養生活をお過ごしいただけます。



Hospital Room

※お部屋代は別添の料金表をご確認ください。

2名部屋

- I (窓側・角部屋)
- J (窓側)
- K (廊下側)
- L (廊下側)
- M (窓・廊下側)

設備品：テレビ・冷蔵庫・チェア・トイレ、洗面台（共用）
※お部屋によっては設備が異なります



3名部屋

- N (窓側)
- O (中央・廊下側)

設備品：テレビ・冷蔵庫・チェア・トイレ、洗面台（共用）
※お部屋によっては設備が異なります



4名部屋

- P (窓側・角部屋)
- Q (窓側・角部屋)
- R (窓側)
- S (窓・廊下側)
- T (廊下側)
- U (廊下側)

設備品：テレビ・冷蔵庫・チェア・トイレ、洗面台（共用）
※お部屋によっては設備が異なります



Facility 寛げる癒しの空間

ラウンジ



受付



ダイニング



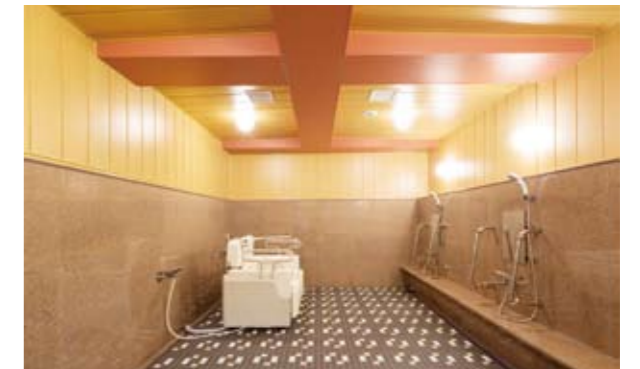
足湯



大浴場



介護浴



機能性と 安らぎを追求した 先進設備

最新鋭のリハビリテーション設備を導入し、一人ひとりに最適なリハビリテーションを提供することで、身体機能の回復に大きな成果を上げています。



シミュレーションルーム (洋室)



シミュレーションルーム (和室)



資格を有したトレーナーがリハビリテーションの時間以外にも体調や健康管理、自主トレーニングの指導を行う



HAL® やエルゴメーター、トレッドミルなどの設備が揃うリハビリテーションルーム。明るく広々とした空間

ペットとふれ愛 「もふもふコーナー」



ペットとふれ合えるコーナーを院内に準備しております。入院をしてもご家族のペットとふれ合えることができ、リハビリへの意欲も向上します。是非ご利用ください。



歩行訓練のための散歩道



緑に囲まれながら一休みできる休憩所



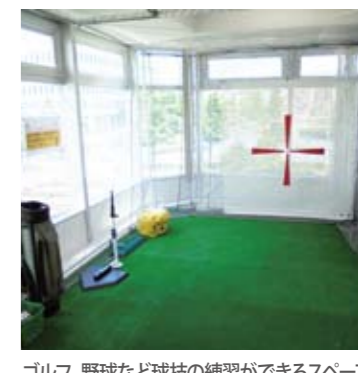
生活用品が揃う売店



最上階からの眺め。天気によければ、歩行訓練をしながら富士山を望むことができます



退院後の生活を想定した訓練を行うADL室



ゴルフ、野球など球技の練習ができるスペース

患者様の 1day スケジュール

寝たきりを防止して健康な心身を取り戻すため、規則正しい生活を送れるよう1日のタイムスケジュールを作成しております。

※疾患や重症度、患者様の状態により異なります。

面会時間 10:00 ~ 20:30

6:00	7:00	8:00	8:30	9:00	12:00	12:30	15:00	18:00	18:30	19:00	22:00
起床	整容動作 更衣動作 排泄動作	朝食	整容動作 排泄動作 リハビリテーション準備	離床活動	昼食	整容動作 排泄動作 リハビリテーション準備	入浴 体操	夕食	整容動作 更衣動作 排泄動作	イブニング レクリエーション	消灯



室内での歩行訓練



屋外での歩行訓練



掃除機を使った畳上の訓練

食事例



リハビリテーション



浴室での日常動作訓練



イブニングレクリエーション

◆月1回の面談

患者様と全スタッフで毎月1回、面談を行っております。ご家族にも参加していただき、現況についてご説明します。悩みや不安等があれば、全員で解決できるよう調整を行っていきます。



◆コンシェルジュ

経験豊かなコンシェルジュが在籍しております。安心して快適な入院生活となるよう、患者様のお手伝いをいたします。



認知症認定看護師の声



認知症認定看護師教育課程での学びを活かし、日々の業務に取り組んでおります。一人ひとりの患者様の訴えや行動の中にある思いや意思をくみ取れるよう関わり、看護展開を行っております。また、それぞれの専門的意見を提示し、多角的視点で対象者を捉え、情報を共有して目標を一致させております。今後もチーム医療の力を最大限発揮できるよう努力していきます。

退院後の支援

安心できる在宅ケアのお手伝い

退院後、社会・家庭生活への復帰を目指し、ご本人へのサポートはもちろん、ご家族へのアドバイスも行っております。訪問リハビリテーションや家屋調査を行うことにより、日常生活へのスムーズな移行を目指します。

訪問リハビリテーション

当院は退院後のサポートとして訪問リハビリテーションを行っております。対象は退院後の在宅生活に不安を感じる方や通院が難しい方、福祉用具や住宅改修についてのアドバイスが欲しい方となります。

内容は心身機能の維持、回復や日常生活の自立支援はもちろん、趣味や生きがいを通じて、自分らしい生活を取り戻すためのお手伝いをさせていただきます。また利用者様のご自宅の環境に合わせてリハビリテーションプログラムを考えていくため個別性が高く、普段の生活に直結し介助量の軽減や自宅内での動作の獲得に繋がります。



ご自宅で必要な動作を練習します



訪問リハビリテーションのチーム

家屋調査の実施

自宅へ退院される前に、理学療法士や作業療法士が患者様の自宅に伺い、現在の自宅の環境で患者様が生活できるかを検討し、必要であれば手すりの設置や段差解消の提案を行います。また、より自宅に近い環境でリハビリテーションを行うための情報収集を行います。



ご自宅のお風呂や段差の高さを計測します



ご自宅での動作確認

チェックポイント

住宅のタイプ・間取り
玄関
台所
階段
トイレ・浴室
寝室・寝具 など



実績 DATA

令和1年度(令和1年4月1日~令和2年3月31日)

1,424名
入院患者数

76.1歳
平均年齢

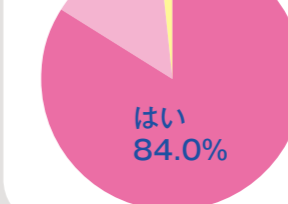
在宅
復帰率

91.1%

患者満足度

当院を紹介したいと思いますか?

どちらともいいえ 1.6%
いいえ 14.3%



評価点

90.4

100点

回復期リハ病棟
入院までの日数

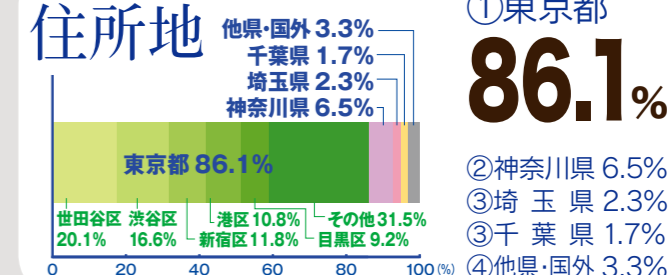
起算日から
の日数 **32日**

紹介から
の日数 **17.7日**

リハ単位数

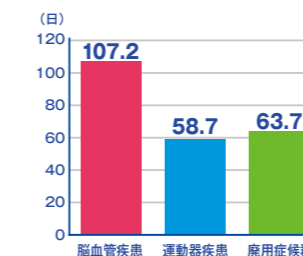
8.1 単位

住所地

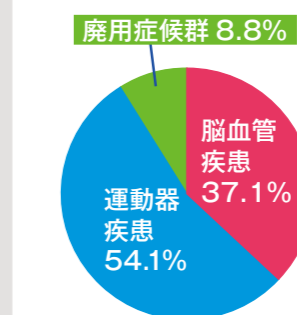


疾患別
平均在院
日数

平均 **79.3日**



疾患別内訳 脳血管疾患



37.1%

運動器疾患

54.1%

重症度

B項目(基準:30%以上)
日常生活機能評価

42.6%

重症者改善率(基準:30%以上)
日常生活機能評価の改善

86.1%

アウトカム

リハビリテーションの実績を評価する指標
リハビリテーションの質の評価
(基準:37以上)

合計 **45.4**

当院について

原宿リハビリテーション病院の特徴

アジア最大 332 床を誇る当院では、各スタッフが専門的な知識や目標を持ち、チームを結成して質の高いリハビリテーションを提供しております。スムーズな自宅復帰を目的として、充実したスタッフによるリハビリテーションを 365 日途切れることなくご提供。実生活に結び付いたリハビリテーションを行い、患者様の早期回復を図ります。



当院は公益財団法人 日本医療機能評価機構の認定を受けています

回復期リハビリテーション病棟の対象患者

対象疾患	入院期間
1 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	150 日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180 日
2 多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折	90 日
3 外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90 日
4 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	60 日
5 股関節又は膝関節の置換術後の状態	90 日
6 急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	90 日

患者様の権利

- 患者様は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されず、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 患者様は、医師による明確で分かり易い言葉での十分な説明にもとづいて、治療を受ける権利、あるいは治療を拒む権利を持っています。
- 患者様は、医師による診断と治療、および変わり得る治療方法と今後予測される問題に関して知る権利を持っています。
- 患者様は、自分の医療内容に関して、医師と共同して選択する権利、他の医師の意見・相談を得る権利、またいかなる場合であっても人格的に尊重され、プライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。
- 患者様は、利用可能な財政的支援について十分な情報を得て相談する権利を持っています。
- 患者様は、効果的医療行為が速やかに行われることを要求する権利、および継続的に、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。

個人情報保護について

原宿リハビリテーション病院（以下、「当院」といいます。）では、患者様等の権利利益を保護し、その人格を尊重することを目的として、患者様等の医療に関する個人情報（以下、「医療個人情報」といいます。）を適正に取り扱います。当院では、次に掲げるとおり、患者様等の医療個人情報について、診療及び医学の研究・教育、並びに、医学部および病院の管理運営のために必要な範囲で、これを適正に取得し、利用いたします。また、取り扱う医療個人情報の漏えい、滅失またはき損の防止その他安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。

【1】利用目的

- 当院は、基本的には、次の各号に掲げる目的で医療個人情報を取り扱います。あらかじめご了承ください。
- 1. 患者様等に対する医療サービスの提供
- 2. 医療保険事務（審査支払機関に対するレセプトの提出、審査支払機関または保険者からの照会に対する回答を含む。）
- 3. 患者様等に係る施設の管理運営業務
- 4. 他の病院、診療所、助産所、医師、歯科医師、看護師その他医療従事者（以下、「医療機関等」という。）との連携
- 5. 他の医療機関等からの照会に対する回答
- 6. 他の医療機関等の意見・助言を求める場合

■入院までの流れ

<病院間の連絡>

医師またはソーシャルワーカーから医療連携室までご連絡いただき、FAXにて診療情報提供書・ADL表をお送りいただくようお願いいたします。即日（当日もしくは翌日）、ご連絡いたします。

医療連携室直通【9:00～16:30（平日）】

電話：03-3486-1225 FAX：03-3486-1226

<ご家族の入院前見学・面談の調整>

ご家族様よりお電話をいただき、入院前見学・面談の日程を調整させていただきます。お越しいただくことが難しい際には、お電話での対応も可能です。

<見学・面談>

<入院決定のお知らせ>

入院日の調整をさせていただきます。

<入院>

入院日までに以下をご用意ください（貴院様式で結構です）。

- 退院証明書
- 診療情報提供書
- ADL表
看護サマリーに含まれている場合は必要ありません。
- 看護サマリー・看護必要度データ
食事内容：治療食内容…主食、副菜の形態、塩分・脂肪・タンパク質制限の有無、禁止食、カロリーなどについてご記載ください。身長・体重の記載もお願いいたします。
- リハビリテーションサマリー
- 画像
発症後・直近のもの（整形であれば術前・術後）、MRI・CTなどの画像があれば併せてお願いいたします。フィルムでもCD-ROMでも結構です。
- 血液検査データ
直近のもののコピーをお願いいたします。
- 薬
※クリティカルパスやプロトコルがある場合はいただけると幸いです。

■退院までの流れ

入院

医師・リハビリテーションスタッフ・看護師との合同面談

治療プログラム作成

リハビリテーション開始

定期的に患者様を中心に面談を実施

退院に向けての環境調整と整備

退院

在宅

医療介護施設

かかりつけ医



※ JR原宿駅からは、赤の矢印の通りにお越してください。
神宮前交差点より2つ目の信号を右折してください。

住所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-26-1

電話：03-3486-8333 / FAX：03-3486-8334

URL: <https://harajuku-reha.com/>

Mail: info@harajuku-reha.com

■アクセス

原宿駅 表参道口(JR 山手線)より徒歩8分

明治神宮前(原宿)駅 7番出口(東京メトロ副都心線・千代田線)
より徒歩5分